

第5回焼津市自治基本条例を考える市民会議・感想

※順不同

平成24年2月19日実施（焼津公民館会議室5・6〈市役所アトシ庁舎3階〉）

◇お世話になりました。仕事柄、日曜日の会合はどうしても遅れることが多く、申し訳なく思っています。

地方自治法の法律には、市民という言葉はなく、「住民」が主語となっていることは初めて知り勉強になりました。

焼津には多くの外国人も生活しているし、また通勤・通学で日中焼津にいる他市町の方もいるので、そういう人たちも排除しないで、またある時は妥協も大事にしながらやっていかないといけないのかといろいろな考えさせられました。

◇当日配布の「資料3」①～⑦が、焼津市まちづくり自治基本条例の根本的理念と考えます。

③について、もう少し焼津市観光面を強調して「観光の街やいつ」をPRして市の活性化の一助としたい。

前①～⑦の実現には予算的な面も必要不可欠なことがあると考えますが、市民会議では全くこのことに触れていないがこの点如何ですか。

◇松下先生のレベルの高さに驚きました。4月以降はぜひコーディネータ役をお願いしたいと思います。

◇みんなで真剣に議論したことが“焼津らしい”自治基本条例として形に残せるように、これからも努力したい。

◇昼食会（差し入れ）ありで市民会議委員＋「自治基本条例ズ」の職員の方々と少しずつ慣れてきて、意見も共有しつつ、今後へつなげていこうという方向性が見えてきて、参加できてよかったと思っています。（資料づくり、まちづくり回覧板等、大変ですが頑張ってください。）

◇条例の素案になる骨子が出来上がっていくようでワクワクしています。

ただ、概略の事柄はまとまりつつありますが、実際は議会に承認され、正式な条例は焼津市が作り、市長が決定するもので私たちが正式な条例自体を作るのではなく、どのようなものになるのか、という点と委員の意見がすべて取り上げられる権限も拘束力もないと思われるのですが、どうでしょうか。あと実際出来上がった後、市民に周知し、どのようなものか不安もあります。

◇・松下先生の、地方自治法との関わる講演から、今なぜ自治基本条例が必要なのか、良く理解できたと思う。これから私たちが市民の中に入って意見を聴いたりする際、大局的な話と具体的な焼津市のことを語り合いやすいと感じた。

・前回までに焼津市の残したいことや、アピールしたい点について話し合ってきたが、今回まだある事項が出てきた。これからもまた発見できるかもしれないと感じた。

・昼食会は、1時間いろいろな方々と雑談できたので親睦が図れた。これからも、事務局は大変でしょうが時々実施したいですね。

◇・1テーブル、1テーマで話し合うことは面白かった。こんな市民会議の継続なら楽しいが、今後の展開（市民説明会等）を考えると気が重い。出席者は理解しているのか疑問、次回で明ら

かになると思うが。

・今井氏「4月から云々…」の発言が理解できなかった。市民説明会等でも、今井氏の力を借りた方が良いと思うが。松下氏の「市長マニフェスト云々…」も何か変。

・「下種の勘繰り」は止めよう。私自身、条例の必要性が納得できていないためか。

・参加職員の気持ちが「ノーサイド」に。難しいかな…。

◇・今まで何とはなしに使い分けしていた「市民」と「住民」、言葉の定義を改めて聞き、班で議論できたことは収穫でした。

・「つながり」「地域の絆」「コミュニティ」…核にしたい言葉が次々出ましたが、もっともっと議論を重ね、有効に使いたいと思いました。

・焼津らしさとは何か？条例の中で焼津らしさ？とは難しい…。

◇考えや思いをどのように文字に変え伝えるか、どうすれば受け取り側の心に響くかの難しさを感じた会議でした。

これからまちに繰り出す予定とのこと、今後の展開が楽しみです。

◇⑤テーブルの皆さんの思いがよくわかる会議でした。お話ししていてそれぞれの考えがあり、それらが尊重される条例ができればいいなと思いました。

※16時終了が16時15分まで延びました。できれば終了時間にきっちり終わって頂きたいです。わがまま言ってすみません。

◇「自治基本条例」をもっとわかりやすくするために、他の言い方で「まちづくりのルール」など、言い方を変えるのはどうでしょうか。（皆が理解しやすくPIにも活用しやすいようにするため）

5回目の感想としては、今あるものを大切にしながら発展・進化していくような条例になるのが理想なのかなと思いました。

◇以前から感じていたのですが、その場で本日やることを考えるのではなく、前もってやることを分かっていた方が、より良い話し合いができるのではないかと思います。

◇「焼津らしさ」の質問で、既存のものはあまり考えず、これからの焼津市を考え、他市とは違いのあるもの、売りになるものを重点的に考えていました。では住民は何を求めているのか？そこで、行政の情報提供の仕方や、住民が積極的に自分の意見を言いやすい環境づくりなどが必要ではとの話になり、他の班とは少し違った形になってしまったのだと思いました。

これからの地方自治は、住民がいろいろなことに積極的にかかわり、自分たちのことなんだと自覚する。また議員も自分の地元だけを見るのではなくて、市全域のことを考える。行政はアドバイス・情報提供など調整役を担ってリードしていただければ、きっと活力のある素敵な市になるのではないかと思います。そのためのわかりやすい「条例」ができればいいなと思います。

◇松下先生のお話を聞いて、市民・行政・議会が手をむすんで理念を形にする為に動くのだというのを再確認しました。

また、最終的には自治会などが独自に色々なことを決め、動いていかなければならないという話、「a11やいづ」とはどういうことなのかもう一度考えていく必要があると思いました。

話し合いの中でもむずかしい言葉が飛びかうことがあります。内容を変えず、誰もが理解できる言葉で。大変なことですね。昨日は何を話し合っているのかわからず大変でした。

◇テーブルファシリテーターを置いた方がよくないでしょうか。私たち職員がやるということであれば、事前に打ち合わせもお願いします。

今井さんの説明が、十分に参加者に伝わっていない印象があるので、ご検討ください。

◇話し合うテーマが難しかったです。もう少し、具体例など示していただければと思いました。ただ、班内での話し合いは非常に盛り上がり、充実していました。

◇班別で話し合う際のテーマ設定が難しかったです。班の中で楽しく話げできたのでよかったと思いました。

松下先生も言っていましたが「この会議そのものがまちづくりにつながる」ということでしたが、目に見えて進んでいるという実感がまだ沸きません。視覚的に、進んでいることがわかるような仕掛けも必要かなと思いました。

◇松下先生のお話を聞いて、もっと明確にすべき点がどこか整理できたと思います。大ワールドカフェの時に参加できなかったのが、機会をいただけて良かったです。

今現在まとまっている内容は、他の委員の方がおっしゃる通り名前を変えればどこでも成り立つものだと私も感じました。焼津らしさ、焼津だからこそ入れるべきことが何であるか難しいですが、探してみたいと思います。

◇今回の会議では第1歩案の方向性を見出すことでありましたが、第3回目の会議による7項目（資料3）に沿って「焼津らしさ」盛り込むべき項目の骨子案づくりを検討するかと思いました。

今井先生が進めていく方向性に対し、松下先生が解説して頂いたわけですが、個人的に少し分かりづらい点もありました。

次回は、今井先生からお話がありましたが、計画等の策定にあたり、市民との意見交換（対話集会、しゃべり場）=PIを実施にあたり、PI部会、原案起草部会、広報部会等の体制づくり、市民会議において必要となるのではないかと感じました。